



## アサリの貝の模様は、なぜみんなちがうの

### 同じ種類の生き物も、どこがちがっている

同じ日本人でも、一人ずつ比べてみると、かみの毛の色、目の大きさ、鼻の形、顔の形、背の高さ、足の長さ、皮ふの色など少しずつちがいます。

動物は、両親からそれぞれ遺伝子（親の体質や性質を伝えるもの）をもらって生まれてくるため、みな、親やその先祖から伝えられてきた体質や性質を受けついでいます。そして、それぞれちがった体質や性質のどれかが現れるため、親や兄弟と似たところもあるけれど、少しずつちがう姿や、性格をもっています。

### アサリの殻の模様は、いろいろ

アサリの殻の模様は、一つずつみんな大きくちがっていて、同じ模様のものは、いません。こうなると、殻の模様がちがうことが、アサリという仲間（種）の特色になります。アサリの一つずつの少しのちがいが、殻の模様のちがいに現れているのです。同じ種類のアサリでも、色や模様は、とても変化しやすいという特徴をもっているのです。アサリの殻が成長するとき、殻の模様は、ほとんど、ぐう然にできてくると考えられています。

### 決まった模様の現れ方もある

テントウムシなどは、同じ種類の中で、真っ赤なもの、赤に丸い黒の模様が入っているもの、黒地に赤い模様が入っているものなど、羽の色や模様はさまざまです。テントウムシの模様の研究はされていますので、模様の伝わり方の決まりなどが、少しわかっています。

（監修・安部 義孝）

